

1月の季語 龍の玉(りゅうのたま)

ひそかなるものは美し龍の玉 中村玲子

和風の庭石の周りなどに植えられる「龍のヒゲ」という常緑植物の実のことを「龍の玉」と言う。目立つ存在ではない「龍のヒゲ」の、根もとあたりに隠れるように、丸く艶やかな藍色の実がなるようすを「龍の玉」というのね。

「携帯」なくて

「携帯」と子供の付き合いは、はじめは親が子供の居場所を知りたいために持たせる、ところから始まったかと思う。電車通学の子供、夜の塾に通う子供、留守番する子供などに親が感じる不安<いま、こどもは、どこにいるか>に焦点を当てて、キッズケータイはデビューした。

現在でも、NTTdocomoのキッズケータイのキャッチコピーは<子どもを守る「あんしん」ケータイ>であり、大音量の「防犯ブザー」と大切な人の居場所を確認できる「イマドコサーチ」をウリにしている。

私も子供の帰りが大幅に遅れたりすると「ケータイがあればなぁ」と思ったりした。

でもでも、落ち着いて考えると、「ケータイ」の位置はわかって、それを子供が携帯しているとは限らない。「ケータイ忘れちゃった」ということもあると思うし、もし、ケータイで呼んでも、子供が出なかったら、そのほうが心配じゃないか、とも思って、持たせることはしなかった。

比べて、まわりのお母さんたちはずっと気軽に、「すぐに迷子になるから」とか「急な留守番も頼めるし」とか「こっちが動きやすいからね」という。便利なものを使わないお母さんは少数派なので、子供のケータイ普及率は順調に伸びていった。

ところが、ケータイを持った子供は親の知らない使い方もするようになり、トラブルに巻き込まれることも増えている。

詳しいことは下記へ

東京都教育委員会教育庁指導部指導企画課

「子供のインターネット利用に係る実態調査」

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr081009.s.htm>

そんなことから、規制の動きが出てきた。

今回の文部科学省「ケータイ禁止指針」

文科省は1月21日、全国の小中学校に児童生徒の携帯電話持ち込みを原則として禁止するよう通知する方針を固めた。

08年7月に教育委員会や学校に取り扱いルールを定めることを求める通知を出し、小中学校への持ち込み禁止を促したが、今回はより徹底した対策を求める通知が出される。

2009年お正月調査のデータを公開中

ラパンアジルの自主調査「09年お正月調査」をブログにアップしました。

<http://research-lapin.seesaa.net/>

本データは出典を明記の上、ご自由にお使いいただけます。

また、男性のデータについても、お問い合わせにお応えしています。尚、全データは有料で販売しています。

お正月調査

調査実施日：2009年1月23～24日

対象：20～59歳男女

Q1：今年のお正月に、あなたがしたことについてお答えください。

Q2：来年のお正月に、あなたがしたいことは何ですか？

(Q1、Q2ともMA/19項目)

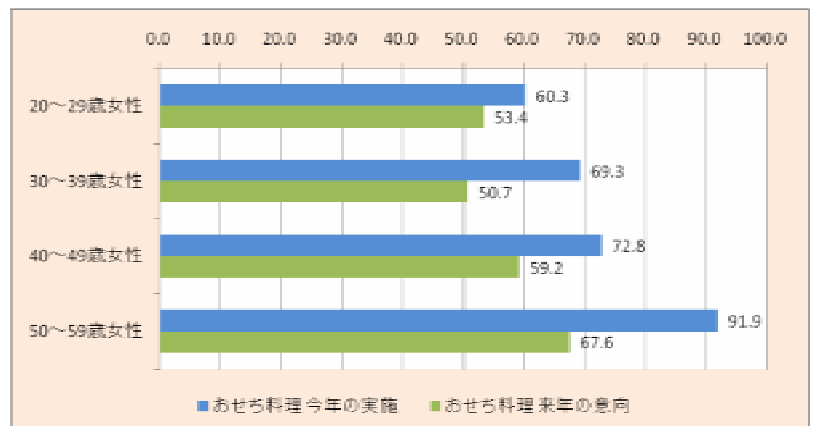
有効回答数：710 / 男性357名、女性353名

グラフは、ピックアップした項目を女性のみ年代別に集計

(単位：%)

おせち料理

今年の実施 / 来年の意向



今年、おせち料理を食べた女性は、50代では90%を超えるが、40代では72.8%、30代は69.3%、20代は60.3%、年代が下がるにつれて減る。

来年、おせち料理を食べたい女性は、最も高い50代でも67.6%、最も低い30代で50.7%。

どの年代も、今年の実施に比べて、来年の実施意向が低くなっているが、50代、30代ではダウン幅が大きい。

50代は今年の実施(91.9%)から 来年の意向(67.6%)へ
30代は今年の実施(69.3%)から 来年の意向(50.7%)へダウン。

初詣

同じ調査で、初詣の実施について、今年と来年を比べてみると、

今年、初詣をした女性は各年代で50%前後、

来年の意向では、20～40代では今年の実施を上回るが、50代のみ下回っている。

40代は今年の実施(53.4%)から 来年の意向(64.1%)へアップ
50代は今年の実施(54.1%)から 来年の意向(48.6%)へダウン。